

## 第24期 第2回 法学委員会「グローバル化と法」分科会 議事要旨

日時： 2018年8月8日（水） 午後2時～4時

於： 日本学術会議5-A会議室

出席者： 鮎京正訓、浅野有紀、吾郷眞一、阿部克則、井上達夫、岩澤雄司、片山直也、金山直樹、川嶋四郎、角田猛之、高山佳奈子、中谷和弘、本多滝夫、森村進、柳原正治、横溝大（定足数を満たし成立）、  
（参考人）尾崎久仁子

### 議題

#### 1. 前回議事録（案）の確認

既に電子メールで承認された前回議事録（案）を全員一致で確認した。

#### 2. 参考人による報告

国際刑事裁判所判事尾崎久仁子氏を招いて、「グローバル化と法をめぐる課題：国際刑事裁判所等での経験を踏まえて」をテーマとして報告をいただいた。尾崎氏の外務省、国連薬物・犯罪事務所（UNODC）、及び、国際刑事裁判所における経験を踏まえた、法にとってのグローバル化の本質、グローバル社会における国際刑事裁判所の役割と課題、グローバル社会における法律家に必要とされる専門知識・適性・キャリア形成に関する実務家の観点からの分析・指摘を受けて、活発な質疑応答と討論が行われた。

#### 3. 今期の審議方針

今期の成果公表として、『グローバル化と法の諸課題—グローバル法学のすすめ』と題する論文集を東信堂から出版することが確認された。

#### 4. その他

今年度の分科会につき、次回は11～12月の土日または祝日に開催する方向で日程を調整することが了承された。内容については、国際経済法の業務に従事している実務家に講演を依頼することとした。